

富士通フロンテックカップ Kドリームス杯



川崎競輪
ナイター



1/26(水) 27(木) 28(金)



川崎スポーツ

レース展望

1月26日から開催される川崎競輪は、富士通フロンテックC、Kドリームス杯として行われるF2戦。ガールズケイリン2レースを含めた12レースで構成されるナイター開催。

地元の主軸は今期から久しぶりのA降級となった松坂英司(神奈川82期)。初戦の前橋でVと好スタートをきっているが、この地元ホーム戦はより一層の気合いで臨むことだろう。南関ラインは機動型が少ないが、熟練の走りで見逃しに食い込む。関東勢は強力な布陣となる。前S級の小沼良(埼玉68期)をはじめ、差し脚好調な丸山直樹(埼玉93

期)や宮下貴之(埼玉81期)らが揃い、力を付けている寺沼伊織(東京115期)や山田雄大(埼玉117期)らの若手機動型も名を連ねる。もちろん、S級でも自力で勝ち星を挙げていた城幸弘(山梨96期)も優勝候補。これだけの顔ぶれの関東が優勢とみる。東北勢は太田将成(宮城113期)が落車から調子を欠いており、大幅な戦力ダウン。しかし、特別昇班して間もない田口勇介(秋田119期)が各地で好走しているのは明るい材料で、優勝争いに加われる機動力は十分にある。機動型の頑張り次第では棟方次郎(青森73期)

にもチャンスが出てきそう。

チャレンジ戦は地元の塚本瑠羽(神奈川119期)と栗本武典(千葉119期)を擁する南関ラインの戦力が一歩リードか。同じく新鋭の平山優太(福島119期)も優勝候補の一角。

ガールズケイリンは石井寛子(東京104期)の総合力が断然とみていい。連日この石井を軸に2着探しの構図になりそう。位置取り上手い奈良岡彩子(青森104期)や、高橋朋恵(東京108期)、長い距離も踏める中嶋里美(愛知110期)らが食い下がる。

戦力充実する関東勢がリード

A級
主力選手



松坂英司 神奈川 82期

前々期の失格が響いて久しぶりにA降級となった地元の松坂英司がホームバンクの川崎に登場する。高いマーク技術と的確な判断でG3の優勝もG1の決勝進出も果たしている神奈川を代表するベテランだ。久しぶりのA級戦となった前回前橋ではきっちりと決勝に進出。南関の3番手を固める形ではあったが、最終4角で内にコースを取り中割り一閃。絶対的に不利な33バンクでVゴールを決めた。正にベテランならではの技ありのV。もちろん先行の番手を回れば抜群の援護力を発揮するし、機動型の戦力も間違いなくアップする。南関ラインの司令塔として頼もしい存在となりそう。一格上の技術を披露する。

A級
主力選手



城幸弘 山梨 96期

前期S級の実力者の城だが、今期はA級2班の格付けとなり予選スタートとなる。S級でも連対するだけの力は十分にあるので、もちろん優勝候補の一角。そんな城に近況を聞くと「最近は色々な方にアドバイスを貰いながら、それを試行錯誤しながら色々試している段階ですね」とあくまで先を見据えたレベルアップを目指している様子。川崎のバンクについてイメージを聞くと「川崎は優勝したこともあるし、イメージは良いですよ」と話す。積極的な若手と同乗すれば番手回りもありそうだが、まだまだ自力勝負でファンを魅了することだろう。連日アタマから狙えそうで、予選クラスなら断然とみて良いだろう。

A級
主力選手



田口勇介 秋田 119期

養成所時代はゴールデンキャップを獲得するなど、タッシュカに優れた期待のルーキー。デビュー以来ラインで決める走りに徹しており、突っ張り先行も多用している。タッシュカを生かした積極策で、長い距離を踏み地脚も付いてきている印象。昨年11月に特昇班を決めているが、「昇班してもやる事は変わりませんね」と話す通り、各地で好内容の走りを続けている。本格デビューを果たしたのは昨年7月の当地川崎で、決勝こそ3着だったが力強い走り勝ち上がりは連勝。バンクの印象を聞いたが「すみません、あまり覚えていないんですけど悪い印象は残っていません」と話していた。優勝争いに食い込む実力。



ガールズ
注目選手
石井寛子
東京 104期

ガールズGPは7着大敗に終わった石井だが、昨年は大車輪の活躍で年間74勝で24度Vをマークした。昨年静岡GP前のインタビューでは「大崩れ無く良い一年だった」と本人も振り返る通り、抜群の安定感を誇っていた。それぞれが単騎で戦うガールズケイリンは

最終的に脚力がモノを言うイメージだが、流れに応じた自在な走りだけで勝ち星を量産できるのは、展開に柔軟に立ち回れる頭脳と身体能力の高さがあるからこそだろう。昨年通算400勝を達成したが、既に500勝も見える位置。更なる躍進が期待できそう。完全Vに期待。

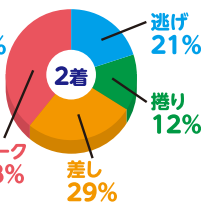
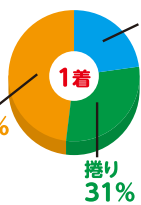


A級
注目選手
塚本瑠羽
神奈川 119期

大学時代までは柔道に打ち込み、輝かしい成績も残してきたが、競輪選手を目指し適正試験を経て養成所に入所。6勝を挙げ在所29位で卒業。柔道で鍛え上げられた肉体を生かして、先行基本に戦っている。ルーキーシーズンを終えて本格デビューとなった青森でいきなり優勝するも、その後は優勝を逃し続けている。まだまだ組み立てやペース配分に甘さがあるものの、パワーは間違いなくある。技能試験組と比べて、柔道から適正試験で合格してきた自転車歴の浅い塚本にはまだまだ伸びしろは十分あるだろう。今後の飛躍に期待できそう。

川崎競輪場バンクガイド

1センターの客席が取り壊され2角からバックへかけて風が吹き込むようになった為、バック追い風の傾向が強くなった。直線が長く、最終4コーナーから直線にかけてイエローライン付近が強襲コースを外を踏める選手が穴を演出する。



俺にまかせろ! 川崎仮面の

開催中
毎日
OA!

YouTube

ニコニコ放送
Nico Nico LIVE



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル